

1 . 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年12月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100500
法人名	有限会社 友星メディカル
事業所名	グループホーム 谷山中央
所在地	鹿児島県鹿児島市谷山中央二丁目609番地1 (電話) 099-268-1765
自己評価作成日	平成26年10月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年11月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

明るい雰囲気が何よりも特色です。年に3回開催させていただいている家族会に多くのご家族方に参加をいただいている、事業所運営にご理解、ご協力を頂けております。毎日の食事を最優先のテーマとしており、毎日食材を買い出かけ旬の野菜を多く取り入れ、またメニューも幅広く提供させていただいております。家族会においては特別メニューではなくご利用者が普段食されている内容にお弁当を提供し、食の安心と安全に満足いただいている。早期の受診、関係機関との連携に努め、ご利用者の方の健康維持に尽力致しております。恵まれた地域環境を利用し、気候のよいときには散歩やひなたぼっこを行い、谷山ふるさと祭の見学などにも参加しております。またスタッフ方の勤続年数が長いことも特徴で、長い時間携わることによるご利用者一人一人への理解も深く、G Hやご利用者に慣れ親しんだスタッフによる介護を提供しております。緊急の際は医療連携機関である田上記念病院と24時間体制にて連携をとれる体制が整っております。非常時には医療関係職種とも連携をとって対応しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 町内会に加入し、地域との交流を大切にして地域行事に参加したり、毎日の食材を近くの店で購入したり近隣で外食している。十五夜などの時は子供達が訪れてきたり、近所からの野菜のおすそ分けなどがある。
- 運営推進会議は定期的に開催し、地域住民も参加して、避難経路の確認や公民館から茶碗を寄贈してもらった報告・外部評価結果報告などをしている。
- 家族会を年3回開催し、面会時や電話・便りなどで家族との接点を常に大切にして、家族との信頼関係を深めている。
- 災害対策は町内会で自治防災組織の結成がなされ、ホームの避難経路を再確認したり、消防署の指導のもと昼夜間想定の訓練も行なっている。非常用通報設備や災害対策用の器具や備蓄が用意されている。
- 外出支援は本人の希望を聞いて、戸外でいきいきと過ごせるように、馴染みの場所などにドライブしたり、外食に出かけている。歩行困難な車椅子の利用者も車に乗って出かけるなど外出の機会を作っている。
- 職員は明るく、職場環境が整っており、支援での疑問や個人的な悩みなど遠慮なく管理者に相談したり、スタッフ間でお互いに相談しあったりして、職員の離職者も少なく定着している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の申し送り後に理念を唱和し、意識をつけ、実践に努めている	理念は職員全員で作成し、玄関や詰め所・台所等に掲示し、毎朝、唱和している。地域交流や地域密着型をめざし、職員会議やミーティングでも話し合っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	外食は地域資源の活用に努め、地域行事も年間計画にいれて参加している。日常的には敷地内を地域の方が通行に利用されており、挨拶などの交流が多く孤立していない。また町内会にも加入している。	町内会に加入し地域の行事に参加している。十五夜の時は子供達が訪問してくれたり、谷山ふるさと祭りなどの見学・毎日の食材を近隣の店で購入したり、近所の店で外食したりしている。高校生の実習受入れやボランティアの訪問がある。近隣住民からびわや野菜の差し入れやおしゃべりをして楽しく交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町内会長と定期に地域実情の話をを行い、GHとしても地域実情把握に努力している。またGHの実情も伝え、認知症の理解支援など意見交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	G Hとしての高齢化や認知症のレベル低下による問題提起も行っており G H行事予定に関するご意見もいただきながら運営に努めている。また運営推進会議において認知症勉強会を行い、好評博している。	運営推進会議は定期的に開催し、ホームの現状や外部評価の結果報告を行い、意見交換をしている。自治防災組織についてや避難経路の確認を行い、利用者の安全に対する取り組みに活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	密に取れているとはいはず、書面や業務的なつながりに留まっている	市担当者とは更新などの書類提出時や福祉担当者がホームに訪れた時に相談したりしている。地区の連絡協議会に加入し情報を得たり、介護相談員の受入を行い協力関係にある。今後、毎月発行のホーム便りを持参し実情を報告していくように計画している。	市担当者と密な協力関係を築かれることが望まれる。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎日の朝の申し送り後に身体拘束の三原則の唱和を行い、意識づけに取り組んでいる。禁止対象となる具体的な行為も一番目に入る箇所に掲示を行い、職員が把握できるように取り組んでいる	入所時に契約書で「拘束制限の行為は行なわない」と明記されており、身体拘束廃止委員会を設置し身体拘束廃止のマニュアルをもとに年間計画で勉強会を実施している。日中は玄関の施錠をせずに職員の連携プレーで自由な生活を支援している。身体拘束廃止の三原則を毎朝唱和し身体拘束のないケアに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	毎日の朝の申し送りの後に身体拘束の三原則の唱和を行って意識を高く保つように心掛けている。また虐待の具体例も掲示を行い意識つけに努めている			
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	ミーティングにて成年後見人制度の勉強会を開催しております。その中で後見人の法的立場や役割など学び、良い関係が築けるように他職種理解に努めている			
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約締結の際は、必ず契約内容の確認、読み上げを行い、何か内容に疑問点がある際には契約の席で返答するように努めている。また随時契約書の内容に関しての疑問等を管理者のほうで受け、納得・理解を図っている			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会の際にご家族方に一言発言を設け、G Hへの意見等募っている。また面会時などにご家族より要望等うけた際は職員間で申し送りし共有・改善に努めている。G Hに意見箱も設置し無記名でのご意見も募っている	利用者とは日常的に、思いや希望を聞いている。家族とは面会時や電話・便りなどで家族との接点を大切にして、意見が言いやすい雰囲気で家族からの些細なことも職員で相談して対応している。買い物の件などが出され、家族との連携を密にすることで感謝の言葉が聞かれている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	常勤、非常勤の差異なく、職員と話をしながらの運営に努めている。またミーティングにおいて職員の意見を聞きながら行事や運営の調整を行っている	月1回のミーティングや状況に応じてケアでの疑問や個人的な悩みなど管理者に相談したりスタッフ間でお互いに相談しあったりしている。管理者は個人面談を行い、親身に対応している。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	代表者へのGH内の報告を密に行っている。職員の勤務状況、努力、あるいは改善の余地ありなどの事象は代表者に届いているというメッセージを送る中で意識向上に努めている。また勤務希望は可能な限り反映できるように努めている		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	関連機関、外部研修の案内を随時GHに掲示行っている。また職員会議においても必要な知識等の勉強会を行っている		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	同じ会社内のGH相互訪問、意見交換や互いのGHの特色や状況などの情報交換を行って、良い取り組みは取り入れるように努めている。谷山地区GH連絡協議会へも参加を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の要望を大切にしながら状態把握に努め、また得られた情報を職員と共有図することで本人のGHにおける生活の安心と安全確保に取り組んでいる		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前での面談にて要望などの把握に努め、安心してサービス利用開始ができるよう多くの情報開示に努めている		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族や実際に利用となるご本人の情報を収集し、適時適切な支援の見極め、情報提供を心かけている		
18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者方の状況にあわせ寄り添って話をしたり、心配事がないか尋ねたり、同じ目線に立つことに努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会においてホームでの行事予定と意見交換を行っている。また普段の面会時より、外出機会や面会の大切さを伝えながら本人様との絆が途切れぬよう支援に努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人様への面会者は関係をお伺いしながら差異なく受け入れており、本人となじみの関係性が途切れることのない環境提供を行っている。面会者の情報はキーパーソン様へお知らせして理解をいただいている	今までの人間関係がとぎれないように生活歴などを把握して馴染みの人との関係を大切にしている。家族や友人の面会なども多く、遠方からの突然の面会などもある。島出身等の利用者には馴染みの店へ買い物に行くなど支援している。馴染みの理美容室には家族同伴で出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	同郷同士の方や、良好な関係にあるご利用者同士など関係性に配慮しながら、自席の配置やホームでの生活全般において孤立することなく、穏やかに過ごせるよう支援に努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されても、ご家族の許可をいただき、退去先への面会などをスタッフが行っている。これまでの関係性を大切にしながら途切れにない関係作りに努めている。退去されたご家族による野菜の差し入れもある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人に対しては誕生日など好みの食事を伺い、提供したり、ご家族に対し、利用者の過去の思い出の食事などアンケートを行い、可能な限り本人の意思を組み入れられるように考慮している。</p>	<p>本人や家族との信頼関係を深め、食事や入浴・排泄について思いを聞き、食事の好みや家族へのアンケート調査で把握し提供している。意思疎通が困難な場合は、生活歴や家族からの情報を得て職員で話し合って本人中心の支援をしている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人様との対話、ご家族とも情報を多く集められるよう普段から心かけている。またケアの観点からも本人の過去の生活歴や経過を大切にしながら支援に努めている</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>ホームが押し付けるケアではなく、本人様が穏やかに過ごしていただくことを重視・考慮している。その中でレクレーションや洗濯物たたみ等の家事参加を個々人の能力に併せてスタッフと共にやって生活に変化と彩りが加わるよう努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	チームケアの大切さを理解し、ユニットのケアに関してはスタッフの合意を持って提供するよう努めている。またご家族面会時にはホームでの状態説明を逐次行って計画に反映できるよう把握に努めている	本人や家族の意向を踏まえ主治医・スタッフの意見を担当者会議で話し合い介護計画を作成している。支援経過を診てモニタリングを3ヶ月毎に行い、状況変化に応じて、計画の見直しを行っている。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	気づいたことや、ケアの工夫などの意見などは普段より話をするなかで会議へとつなげ、職員間で申し送りを行い、柔軟に対応し、ご家族へもケアの会議内容の情報提供を行っている		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	行事予定とあっても利用者方の状況に配慮し予定を変更したり、日々変化する現実に柔軟に対応するサービスに取り組んでいる。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	近隣住民の方の通用道路となっている立地条件を活用し、天気の良い日などは外気浴等にて、そこで気軽に声を掛け合う雰囲気つくりができている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族の要望の考慮を行なながら、連携機関や主治医との情報交換を行っている。また早期受診を施設目標に掲げ、健康保持に力をいれている。</p>	<p>本人や家族の希望を聞き、今までのかかりつけ医の受診を支援している。歯科や眼科など専門医の受診は家族の協力をもらったり、家族が行けない場合は、職員で支援している。個別に応じて2週間に1回の往診も行っている。少しの状態変化でも、家族に報告し、状況により医療連携体制で早期受診・早期治療に繋がる支援をしている。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>現在看護師がいないものの、連携機関の医療関係者との24時間の連絡体制ができているので、個々の状態にあわせ相談を行っている。また主治医の外来看護師などにも情報を提供し、相談を行うことに努めている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院が発生した場合には、病院側、ご家族と情報交換を行いながら状態把握に努め、情報が途切れることのないよう努めている。また退院の判断、退院後の状態観察等、医療機関と連携をとり、G Hに戻られてからの生活がスムーズにいくよう支援している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族会・運営推進会議や面会時など利用して日ごろから重度化や終末期についての話をして意見交換を行っております。内容も個々に合わせ、具体的な意見交換に努めている	重度化や終末期について契約時に説明を行っている。早めの段階から、家族や主治医と連携を取り、家族の協力を貰いながら進めている。ターミナルケアのマニュアルを作成している。緊急時は24時間医療連携体制をとっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防を呼んでの火災訓練や自治防災訓練、また非常時の連絡体制を整備し、非常に速やかに対応できるよう備えている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会長に地域の非常時の避難経路の確認を行っている。また年間計画にも各種訓練を設け、意識の向上に努めている。	消防署の指導のもと昼夜間想定の避難訓練を行なっている。地震想定での避難経路、初動動作についてマニュアルを作成している。非常用通報設備や災害対策用の器具を設置している。非常時の備蓄は水や氷砂糖などの食料や懐中電灯・保険証の写し・家族の連絡帳を1ヶ所に保管している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>一人一人、個人の人格を尊重し、声掛けを重視しながら支援に努めている</p>	<p>日々の関わりの中で、利用者の尊厳とプライバシーに配慮したケアや言葉かけに努めている。職場研修を行い、個々の感情の変化などに注意しながら、言葉の内容、語調など考慮し、さりげない声かけや誘導をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>自己決定を尊重して、確認が難しい利用者に関してはご家族と話し合いながら可能な限り本人の思いをくみ取りよう働きかけている</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>けして押し付けるケアになることのないよう本人のペースにあわせて気分の乗らない日には日課も休んでいただくなど配慮を行いながら個人個人の自由な暮らしを尊重している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>利用者に似合う色など、生活のなかにも彩や個性がみられるように支援している。訪問カットを利用し、ご家族同意のもと身なりを整える支援を行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	何よりも形のある食事提供にこだわっています。また好みではない食材や好みの食材など、可能な限り、利用者方の嗜好の情報を集めながらメニューも幅広く提供行っている。	食に関する嗜好や家族からのアンケート結果を基に献立や調理を行い、食事時間を自由にしている。調理の下ごしらえや盛り付け・味付けなど力量に応じて職員と一緒に行なっている。食事を美味しく食べられることと普通食ができるだけ食べられるように配慮している。誕生日は個々の好きなものを提供し、家族と外食する利用者もいる。おやつも手作りにしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取表・水分表にて日々の摂取状態の情報管理に努めています。また拒否がみられても声掛けを重ねてみたり、時間をずらしたりとしっかり必要量確認できるよう支援に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを徹底しております。また可能な限り自力を促し、本人の残存機能維持にも意識をもって取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時での声掛け、誘導に努め、コールがある際も逐次トイレでの排泄を支援している。立ち上がりができないご利用者もケアの観点より介助にてトイレに座っていただいている	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、それぞれの習慣やしぐさからさりげなくトイレ誘導をしている。羞恥心への配慮もしながら排泄の自立支援を行っている。夜間はトレーニングパンツにパットを着用し、朝交換している。失禁時は自分で更衣し定位置においてあるのでさりげなく片付けている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜中心の食事、可能な限り普通食での提供にこだわりをもっている。また普段より水分の摂取には十分に気をつけている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわず、個々に応じた入浴の支援している	曜日は決まっているが、逆にその曜日を楽しみとされている利用者もあります。また個々の希望や汚染などタイミングに合わせて支援している。必要に応じての入浴支援に努めている	入浴は週3回を基本にしているが、利用者の希望があればいつでも入浴できるように体制作りをしている。状況に合わせて、シャワー浴も含め、その都度対応している。羞恥心が強い人や職員と相性が合わない人に対しては、気持ちよく入浴できるよう、適宜、職員の調整を図っている。ゆず湯を楽しむ場合もある。入浴をいやがる利用者はいない。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状況、体調にあわせて休息できている。また不眠がみられる際にはともにお茶を飲んだり、声掛け、付添いなどによって安心して入眠できるよう支援している。			
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	高齢もあり、状態変化の際はまず副作用疑いから確認するよう努めている。また内服時には日付・朝晩・本人確認の読み上げを行って服薬支援行っている			
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外出、外食行事を設けております。またGHの生活においては各人家事参加等能力に応じて支援し、埋没的な生活にならないよう役割をもっていただいたらしく、機会を設けるよう支援している			
49 18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の要望を大切にしながら状態把握に努め、また得られた情報を職員と共有を図ることで、本人のGHにおける生活の安心と安全確保に取り組んでいる	天気の良い日は外気浴をしたり、近隣の散歩や店へ職員と買い物に出かけている。本人の希望を聞いて戸外でいきいきと過ごせるように、馴染みの場所などにドライブしたり、花見や外食などを少人数に分けて行っている。年1回は全員で外食を楽しんでいる。車椅子の利用者も車に乗ってドライブするなど外出の機会を作っている。家族の協力を得てドライブしたり墓参りをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理能力のある方には個人で金銭管理行っていただき、自己管理支援を行っております。外出時などはその財布からのお買いもの支援も行っている。			
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人希望がある際には速やかに対応している。また正月には年賀状を出す支援を行っている			
52 19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は特に清潔に保つよう気をつけている。また季節ごとに四季を感じられるような演出物制作にも取り組んでいる。その際は利用者方にわかりやすい造形に留意している。	フロアは天井も高く開放的で広い。日当たりがよく採光も入り明るい。掃除が行き届き清潔で臭気も無く、移動も安全なスペースが確保されている。エアコンで温度も適度に調整され加湿器も作動している。風呂やトイレも広く車椅子などの利用者も安心して生活している。大型テレビやソファーの長椅子が対面で置かれ、ゆっくりくつろげる。壁には手作りの柿の作品や格言などが貼られ季節感や生活感が感じられる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間での配列は個々人の関係性に最大限配慮行っている。またソファを設け、ゆったりと過ごせる環境にも配慮行っている。		
53		○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の馴染みの家具や仏壇、写真など本人にとってかけがえのないものや思い出を感じられるものを置くことによる、本人にとって居心地の良い空間となるよう配慮している	居室は防炎カーテンが使用され、洗面ユニットも設置されている。自宅からそれぞれの馴染みの衣装棚等の家具や仏壇・家族の写真・祝いの額縁などが飾られ、物品の配置なども工夫されて個性的な部屋になっている。	
54	20	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレも本人の動線に合わせた箇所を使用して、本人が迷わないように考慮している。ユニットの環境を考慮したケアに努めている。		
55					

V アウトカム項目

		<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目 : 23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目 : 18, 38)	<input checked="" type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目 : 38)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目 : 36, 37)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)		2 利用者の2/3くらいが
		●	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	●	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)		1 ほぼ全ての利用者が
		●	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	●	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		2 数日に 1 回程度ある
		●	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
		●	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	●	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	●	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	●	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない